

立命館大学スポーツ健康科学部の実験に、 野球部員全員で参加しました！

スポーツを科学的側面から捉えることを実感できる機会があるのも、本校野球部の魅力のひとつ。普段のプレーや自分の身体のことを科学的指標で表すことで、目標設定やモチベーションの向上につなげることができます。

今回は、立命館大学スポーツ健康科学部の寺田昌史先生に來校していただき、自分たちの身体の特徴を知ることができる実験に参加させていただきました。寺田先生は、スポーツ医学・運動神経生理学・バイオメカニクスを専門とされており、大学での学びを直接経験できる絶好の機会となりました。この日は、複数の動きを測定し、その後 8 週間に渡り指示されたトレーニングや呼吸法を行うことで、どのような効果が表れるかを検証します。

スポーツ健康科学部には、本校卒部生からも毎年進学者がおり、スポーツを様々な角度から研究しています。本校野球部菊池トレーナーもスポーツ健康科学部大学院の卒業生であり、菊池トレーナーのように卒業後もスポーツに携わっている卒業生がいます。このような機会は、自分たちのプレーに結び付けることはもちろん、高校卒業後の進学や将来の夢を考える機会にもなります。野球だけではなく勉強だけでもなく、文武両道を目指す高校生活の中で、キャリア教育の機会にも恵まれているのが本校のメリットです。

偏差値だけの「大学選び」ではなく、高校生活で見つけた夢に直結した「学部選び」ができる本校の内部進学制度は、大学野球部に入部し高いレベルで野球を続けたい生徒や、卒業後は自分の興味ある分野を本格的に学びたいという生徒にも非常にメリットのある制度です。大学進学に関して恵まれた環境の中で、とことん野球に取り組むことができることが、本校野球部の最大のメリットです。



2019/12/07